

2022. 3

No. 1
創刊号



●題字は、白井第二小学校6年生秋谷俊志さんに書いていただきました。

発行 白井第二小学校区みどりの里づくり協議会 総務・広報部会

*取次先 白井市公民センター（白井市中98-17） ☎047-492-5266

みどりの里づくり協議会設立

現在、市内では、住民の皆さんが自分たちの地域のことを自分たちで考え、さらに住みよい地域づくりを行う小学校区単位の新しい住民自治組織である「まちづくり協議会」の取組みが進められています。

私たちの白井第二小学校区は、豊かな自然に恵まれ先人の英知とたゆまぬ努力によって発展してきました。

しかし、少子高齢化が進み、共働き世帯の増加や核家族化の進行など世帯構造が変化する中で、各種活動の担い手不足や、活動に関心を持たない、関心があっても参加できないなど、これまでの地域のつながりが希薄化するという問題が生じています。

このような状況から、今後、ますます地域が主体となって市とも連携し、知恵を出し合い、力を合わせてまちづくりを進めていく必要があります。

第二小学校区では、令和2年12月に設立準備会を設立し、この地域をより暮らしやすくするとともに、次の世代に引き継ぐために、皆が連携・協働しながら伝統と新しさが調和するみどりの里の形成に寄与することを目的に令和4年1月15日に**白井第二小学校区みどりの里づくり協議会**を設立しました。

地域にとっても、市にとっても初めての取組みになりますが、さらに住みよい第二小学校区を目指して、ご理解とご協力をお願いします。

協議会会長挨拶



協議会会長
小林正継

1月15日の総会を経て、みどりの里づくり協議会がスタートしました。設立準備委員会に続いて会長を務めます小林です。まず、第二小学校区が持つ素晴らしい伝統文化や生産技術を魅力あるものとしてPRします。その誇りの上に、生活の土台となる安心安全や環境の美化、保全をしっかりと確保していきます。そして外国人を含め、地域の住民や団体、事業者などとの交流の輪を広げ元気で楽しい生活を築き上げたいと思います。

子供、青年、壮年、高齢者が互いに助け合い協力して、少子高齢化や人口減少、過疎化に負けない未来をつくっていきましょう。

協議会設立に寄せて 白井市長祝辞



白井市長
笠井喜久雄 様

白井市初の小学校区まちづくり協議会として、「白井第二小学校区みどりの里づくり協議会」が設立されましたことに心よりお祝い申し上げます。また、設立準備会委員の皆様におかれましては、多大なるご尽力をいただき感謝申し上げます。

市では「小学校区単位のまちづくり」を第5次総合計画の重点戦略事業に位置づけ、平成28年度より推進してきました。まちづくり協議会の設立を契機に、これまで以上に白井第二小学校区の特徴を活かした事業が展開され、第二小学校区の皆様が地域に魅力や愛着を持っていただけるよう、引き続き支援させていただきます。

これからの協議会の発展と皆様のご多幸を祈念し、お祝いの言葉といたします。

カワセミは、水辺に生息する小鳥で、鮮やかな水色の体と長いくちばしが特徴。ヒスイ、青い宝石と呼ばれることもあり、自然が豊かなあかしです。第二小学校区内にはまだ生息していることから地域を象徴する鳥とし、会報誌の名としました。

まちづくり協議会とは

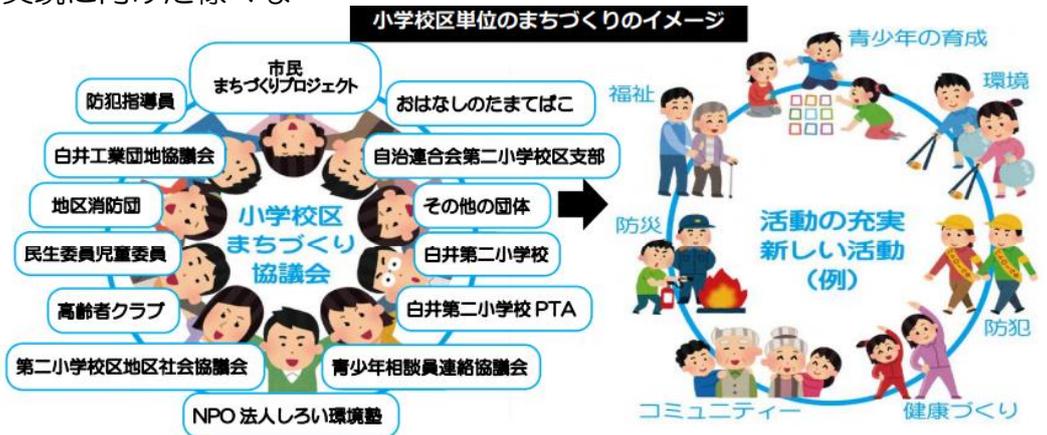
これからの少子高齢化の進行や人口減少社会の到来によって、市の財政規模は縮小硬直化していき、市民ニーズの高まりに対応することが困難になることが予想されます。

このような状況から、今後ますます地域が主体となって「地域は自分たちでつくる」という考えのもと、まちづくり協議会の活動を通して、さらに住みよい地域の実現に向けた様々な取り組みを展開していくことが重要となっています。

現在、市内では、住民の皆さんが自分たちの地域のことを自分たちで考え、さらに住みよい地域づくりを行う小学校区単位の新しい住民自治組織となる「まちづくり協議

会」の取り組みが進められています。

まちづくり協議会は、おおむね小学校区を区域として、地域が主体となって地域の住民や各種団体、事業者及び行政が互いを尊重し合い相互の交流と活動を通して活力ある地域にしていくことを目指しています。



まちづくりの将来像と基本方針

《将来像》

伝統と新しさが調和するみどりの里

白井第二小学校区の特徴を踏まえ、連綿と続く地域のコミュニティ、豊かな自然環を生かした農業、地域に残る様々な行事や歴史的事象を守り、工業団地の技術革新や住んでいる人にも新しいものに向かう希望を表し、みどりは第二小学校の校歌の歌い出しにもあり、自然の豊かさを表現しています。



《基本方針》

○安心安全なまちづくり

交通安全、防災、防犯の事業を行うことにより、安心安全に暮らせる地域を目指す

○美しい景観と伝統文化を大切にすまちづくり

ごみの減量・資源化、景観の保全・環境美化、伝統文化の継承を行うことにより魅力ある地域を目指す

○みんなが交流し、助け合うまちづくり

住民同士の交流、外国人との共生、支え助け合うことにより温かさが感じられる地域を目指す

○地域を元気にするまちづくり

地域の活性化に向けた活動と開かれた組織運営により元気な地域を目指す

協議会 Q&A

Q まちづくり協議会の設立で、地域にどういったメリットがあるのでしょうか。

A 市内の9つの小学校区にはそれぞれに地域特性があり、抱える課題も違います。一方、市が提供するサービスは全市的な観点から一律・公正・公平を基本としてきましたこのことから必ずしも的確に地域課題に対応できたとは言えません。まちづくり協議会によって、自分たちで地域の実情に即した特徴あるまちづくりを進めることができるようになります。また、設立を契機として類似事業の整理や効率的な実施方法を考えることも可能です。

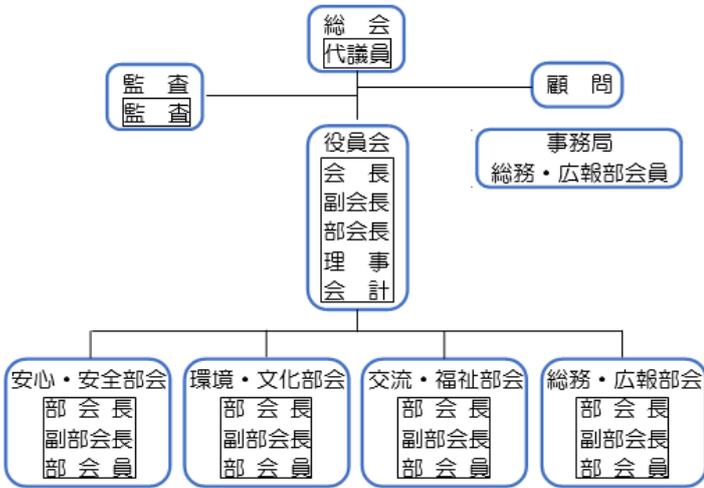
Q 自治連合会や社会福祉協議会があるのになぜ、まちづくり協議会が必要なのですか。

A ニーズが多様化する中、地域の各種団体では、活動は増えても担い手は増えないという課題を抱え、地域活動の発想や手法の転換が必要です。各種団体の活動内容を情報共有し、地域の体力を見極め、本当に必要な活動を精査することが求められています。

そのような中、福祉、環境、防犯などの分野の枠を超え共通目標に向かって連携・協力し地域ぐるみで取り組むその役割を担う組織がまちづくり協議会です。

協議会の活動と組織体制

みどりの里づくり協議会の体制は、以下のとおりです。また、設立されたばかりで計画している事業をいつどのように実施していくか検討中です。



【協議会の部会と事業】

- 安心・安全部会**


児童のながら見守り
交通安全指導
学校と連携した防災訓練
防災・災害学習会
防災倉庫の確認
防災マニュアルの作成
災害時の援護検討
青色防犯パトロール
子ども110番の協力者拡大
空き家マップの作成検討
防犯カメラの設置検討
- 環境・文化部会**


ごみゼロ運動の充実
資源回収運動への参加
花の街道づくり
伝統文化の保存
宝物マップの活用

【協議会の取り組み】

- (1) 安心・安全に関すること
- (2) 自然環境の保全に関すること
- (3) 地域資源の活用に関すること
- (4) 歴史・文化の継承及び創造に関すること
- (5) 親睦・交流に関すること
- (6) 健康・福祉に関すること
- (7) 子どもの健全な育成に関すること
- (8) 情報の収集・発信に関すること
- (9) その他本会の目的達成に必要なこと



- 交流・福祉部会**


夏祭り＊納涼盆踊り大会
ほっこり市・まんぷく広場への協力
ばらっばまつりへの協力
国際交流祭りへの協力
福祉情報センターの設置の検討
高齢者買い物支援への協力
- 総務・広報部会**

魅力ある第二小の紹介
第二小区カレンダーの作成配布
会報の発行
組織運営の推進

■みどりの里カレンダーをつくったよ!

地域の写真や予定の行事を掲載した協議会オリジナルの4月から始まる年間カレンダーをつくりました。地区回覧などで無料配布しています。
*サイズ A2 縦型 縦 59.4 cm 横 42.0 cm



協議会のパートナー募集

協議会は公民センターを活動拠点に、手探り状態で活動を開始しています。そこで、各種活動を行うには人手が必要になると

考えます。こうやってみたい、手伝うことができるなどお声がありましたら気軽に事務局まで連絡ください。

専門部会長あいさつ

■安心・安全部会

第二小学校区は、工業団地を抱えていまして、大型トラックをはじめとしまして会社に通勤する車が多くやってきます。過去には、悲惨な交通事故も発生しています。また、農業従事者も市内の中では、多い地域になっています。私も梨づくりをしている農家です。そこで、農機具等の盗難とかも多発発生していると聞いています。

昔のようなのんびりとした時間やお互いを気づかう近所づきあうも希薄になりつつあります。

他の部会と連携し、効率よく交通安全、防犯活動等を重点的に行って安心安全なまちにしていきたいと思ひます。



山崎正司氏

■環境・文化部会

この白井市(折立区)に住んでかれこれ70年近くとなります。昔は、小川や弁天池で魚獲りつりをする幼少期でしたが、今その魚も‘きねずみ’(木を渡り歩くりスのような動物)もおりません。

毎年、弁天池の菖蒲が咲く5月頃を目指し、冬の時期に枯草を刈り取り、一昨年からは、降雨時池上流部の水路から畑や田んぼまで溢水するため除草を始め、地区でも40年ぶりの“溝払い”を実施しました。

‘自分達のところは自分達で’との意気からでした。また、祖母等が集まったの‘お囃子’もその世代が少なくなり、残念ながら会う機会も減り、社会の繋がりも薄れてしまっています。

このような中、少しでも人と人が寄添い、次世代に繋げて行けるものを皆様と協力しながら部会で取り組んで参りたいと思ひます。



宇賀博氏

■交流・福祉部会

交流・福祉部会長に就任いたしました永井英朋と申します。受ける以上は精一杯頑張りたいと思ひます。

第二小学校区は、他の小学校区に比べ人口が少なく小学生の児童数も減少し、小規模特認校に指定されました。

人口の増加は、なかなか難しい面もあると思ひますが、小学校へ通う児童が増えていけばと思ひています。

地域住民や団体、事業者間の交流は協議会の事業推進の要と考へます。まずは交流・福祉部会のメイン事業である夏まつり(納涼盆踊り大会)を成功させたいと思ひます。



永井英朋氏

■総務・広報部会

「白井第二小学校区みどりの里づくり協議会」の発足に伴い、総務・広報部会長に選任されました地区社会福祉協議会に所属し中峠団地におります人見

政勝氏です。この部会は、みどりの里づくりを推進するにあたって中心となる部会です。まず、多くの皆さんに読んでいただける会報誌や、アクセスしていただける魅力あるホームページを部会員と一緒に作っていきます。乗せたい記事等がありましたら遠慮なくお声をおかけください。住みよい第二小学校区目指し取り組んで参ります。



人見政勝氏

協議会からのお知らせ

■協議会のホームページ開設しました

ホームページでは、協議会の事業に関することを中心に防災、防犯、環境、高齢者福祉、第二小学校に関する情報を提供していきます。

それぞれの項目について、内容が不十分ですが今後の活動により充実していきます。



URL



メール

URL <http://www.midorinosatoshiroi.jp>
eメール info@midorinosatoshiroi.jp

■編集後記

創刊号の白井第二小学校区みどりの里づくり協議会だより「カワセミ」はいかがでしたか。

誕生したばかりの組織のところに新型コロナウイルス感染症によるまん延防止等重点措置の適用などが重なり、活動が制限された状況ですが、基本的対処方針に沿った行動のもとに活動を進めていきます。

今後も皆様のご協力とご支援をお願いいたします。

*総務・広報部会